

2025年7月15日

各位

会社名 株式会社トワライズ  
代表者名 代表取締役社長 古山 英明  
(コード: 267A TOKYO PRO Market)  
問合せ先 常務取締役経営統括部長 高田 裕文  
(TEL 0859-35-1714)

## 特別損失の計上及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2025年7月15日開催の取締役会において、下記のとおり、業務遂行の過程で債権の取立不能又は取立遅延のおそれが生じたことにより特別損失を計上すること、及び最近の業績動向等を踏まえ、2024年10月23日に公表した2025年7月期(2024年8月1日~2025年7月31日)の通期連結業績予想を修正することについて決議しましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 特別損失の計上及びその理由

当社は、2025年7月期連結累計期間(2024年8月1日~2025年7月31日)において、特別損失に債務保証損失引当金繰入額として166百万円を計上することとしました。理由等の詳細は、本日公表の「債権の取立不能又は取立遅延のおそれに関するお知らせ」に記載しています。

#### 2. 連結業績予想について

(1) 2025年7月期通期連結業績予想の修正(2024年8月1日~2025年7月31日)

(単位:百万円、%)

	営業収益※	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	7,332	640	655	451	435.09円
今回修正予想(B)	7,178	729	845	433	414.47円
増減額(B-A)	△153	88	189	△18	—
増減率(%)	△2.1	13.9	29.0	△4.1	—
(ご参考)前期連結実績(2024年7月期)	6,891	362	395	697	674.24円

※一般企業の売上高に代えて、営業収益を記載しております。

#### (2) 修正の理由

主力事業である信販事業において、与信基準の適正化が進み、その効果が顕著に現れました。その結果、与信費用の圧縮が図られたほか、その他経費の削減要因もあり、営業利益の増加(計画比13.9%増加)が見込まれています。さらに、利息返還請求が当初の予想を大きく下回った

ことから、利息返還損失引当金の戻入を営業外収益に計上したため、経常利益においても大幅な増益（同 29.0%増加）見込みとなりました。

一方、上記「1. 特別損失の計上及びその理由」に記載の特別損失等を計上することにより、親会社株主に帰属する当期純利益は予想を下回る見通しとなりました。

(注) 上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって、予想値と異なる場合があります。

以 上